



# X FRONTIER

## 竣工記念メディア説明会

2020年 1月29日

SGホールディングス株式会社

代表取締役社長 荒木 秀夫

# SGホールディングスの ビジネスモデルと戦略

Business model & Strategy



# 日本の物流環境におけるSGHのターゲット領域



出所 日本物流団体連合会「数字で見る物流2019」、株式会社 矢野経済研究所「物流市場の現状と将来展望2017年版」、全日本トラック協会「日本のトラック輸送産業 現状と課題2017」

注記 (1) 数字でみる物流2019より、2017年度物流業界(トラック運送事業、JR貨物、内航海運業、外航海運業、港湾運送業、航空貨物運送事業、鉄道利用運送事業、外航利用運送事業、航空利用運送事業、倉庫業、トラックターミナル業) 営業収入合計値 (2) 数字で見る物流2019より、2017年度トラック事業の営業収入合計値

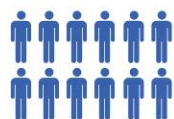
(3) 物流市場の現状と将来展望2017年版における「宅配便事業の主たる有力企業」(当社・ヤマト・日本郵便・セイノー・福山通運)の2015年度宅配便営業収入合計値(航空等利用運送事業による宅配便を含む)

# SGホールディングスグループの3つの強み

POINT  
01

## ソリューション

## セールスドライバー



ソリューションの出発点は、  
約20,000人<sup>(1)</sup>のセールス  
ドライバー<sup>®</sup>による情報収集

## カスタマイゼーション



お客様のサプライチェーンに  
最適なソリューションを  
オーダーメイドでご提供

## アライアンス



自社で賅えない機能は  
専門家とのアライアンスに  
よりご提供

POINT  
02

## インフラ

## 全国ネットワーク



FromBに適した施設規模  
■ TC型営業所 427拠点(1)  
■ 大型中継センター 24拠点(1)

マルチコンテナローディング<sup>(2)</sup>

■ 大型から小型まで、顧客の  
様々なサイズに対応  
■ 荷物1個1個の管理が可能

VLF(多種多様な物流機能)<sup>(3)</sup>

■ DC(保管型倉庫)約120万㎡  
■ 大型・特殊配送ネットワーク  
■ 国際物流ネットワーク

POINT  
03

## パフォーマンス

## 原価管理



- 地域別・サイズ別の原価管理と、顧客別の採算管理
- 荷物単位の原価管理

## 変動費化



- 自社のリソース
- 企業への集配
- 他社のリソース
- 幹線輸送 ■ 消費者への配達

## 顧客ポートフォリオ



約100万社の法人アカウント  
を持ち、ロングテールの  
ポートフォリオを形成

注記 (1)デリバリー事業：2019年3月31日時点 (2)マルチコンテナローディング：様々なサイズの荷物を手積み手降ろしすることにより、積載効率を高める

(3)VLF：Various Logistics Functions(多種多様な物流機能)

# セールスドライバーの進化

～ ニーズの把握からウォンツの発掘へ～

ドライバーの役割

集配

- 集荷
- 配達
- 集金

営業

- 営業
- 集荷
- 配達

ニーズの把握

- 課題把握
- 営業
- 集荷
- 配達

ウォンツの発掘

- 課題把握
- 営業
- 集荷
- 配達

先進的ロジスティクスプロジェクトチーム  
「ゴール」。

GOAL®  
(GO Advanced Logistics)

宅配  
クライシス

商宅  
分離

To B → 自社

To C → 外部

eコマースの急成長

女性活躍推進

短時間雇用・シルバー人材活躍・週休3日

大量生産大量消費

海外生産移転の進行

多品種小ロット

多頻度出荷

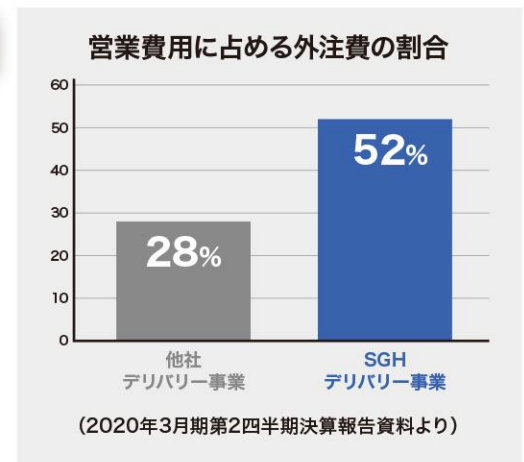
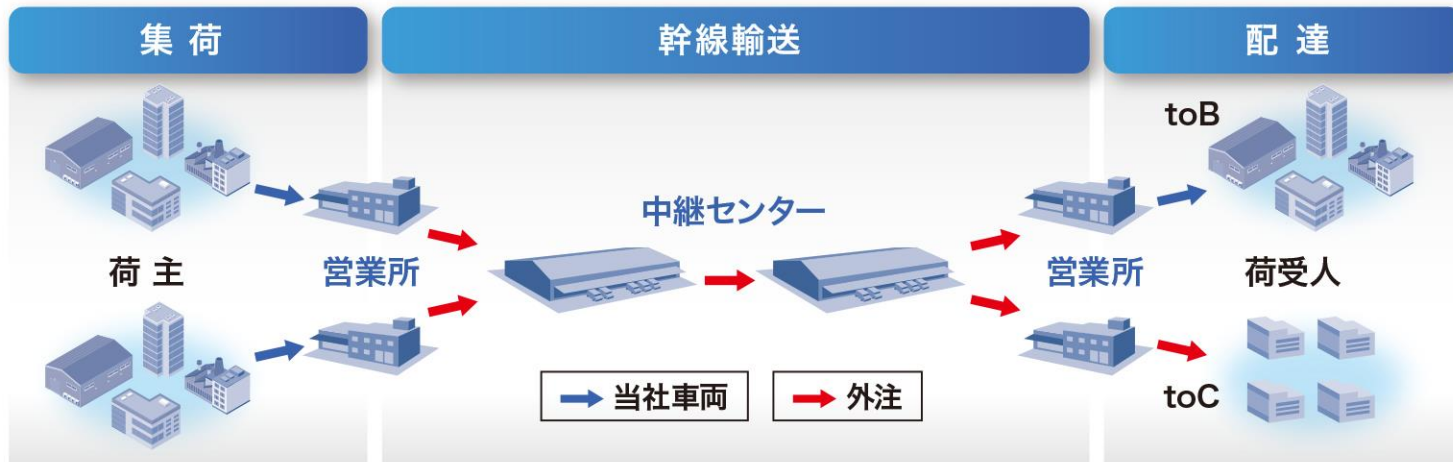
1957年

2000年

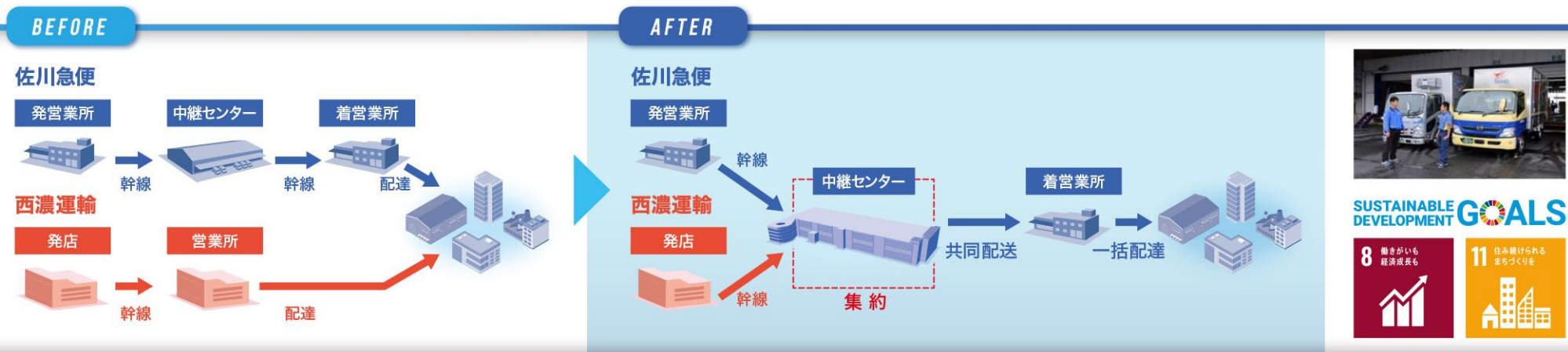
2030年

# 個数に左右されないコストコントロール

## 変動費化によるコストコントロール



## アライアンスによるコストコントロール



# Xフロンティアの コンセプト

Concept



## コンセプト



進化した通過型物流センター

TRANSFER CENTER

×

進化した在庫型物流センター

DISTRIBUTION CENTER

+

国際物流

大型・特殊輸送

ECプラットフォーム

グループの様々な機能が**交わる**センター

物流の新たな可能性を切り開くフラッグシップ拠点へ



# Xフロントティアが 提供する価値

Logistics value



# 物流業界の課題

## ECの増加



物量増加(宅配便増加)

## ドライバー不足



幹線ドライバー、労働人口減少

## グローバル化



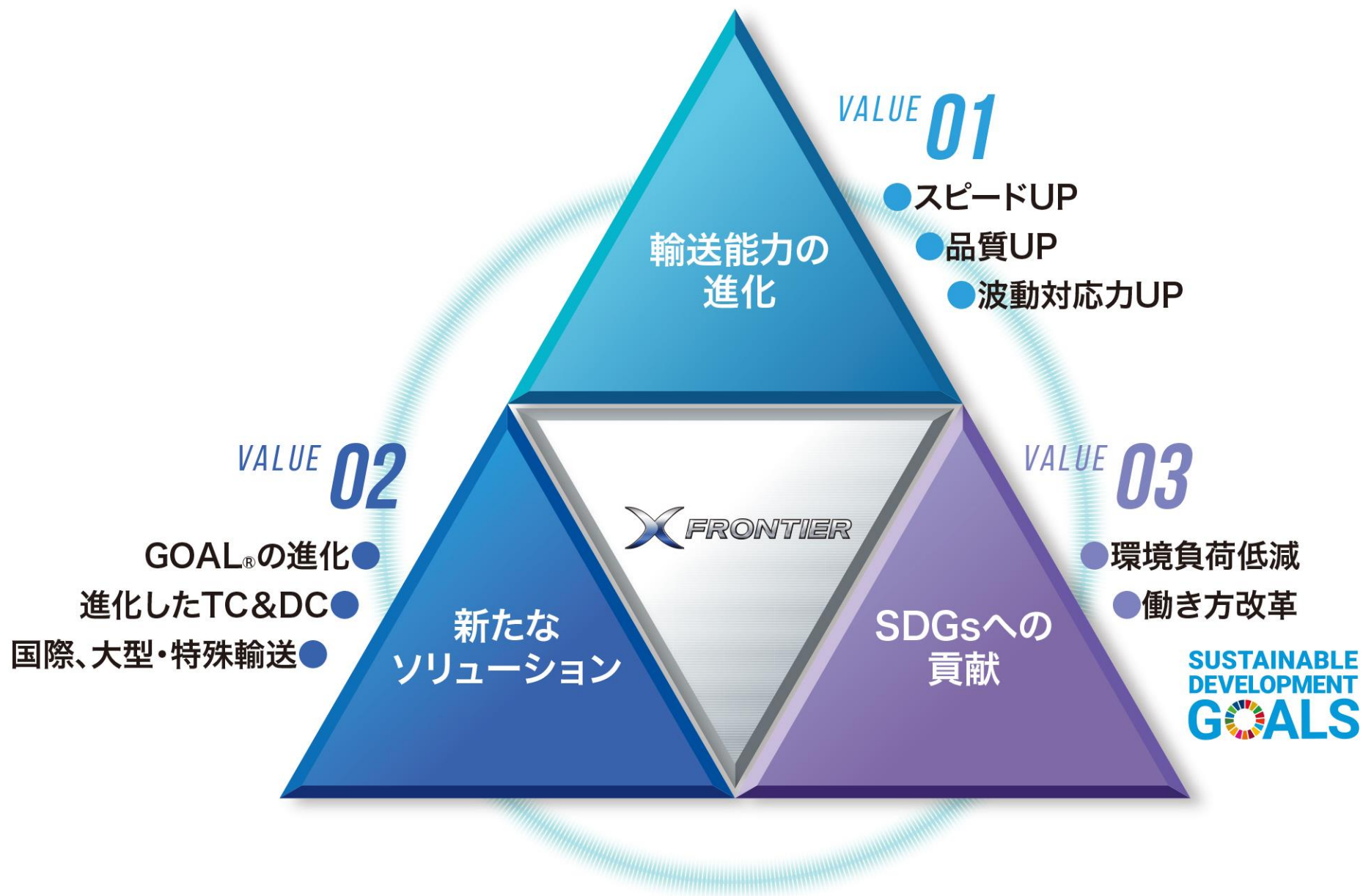
製造などが海外に流出、  
シームレスな物流が必要

## 温暖化



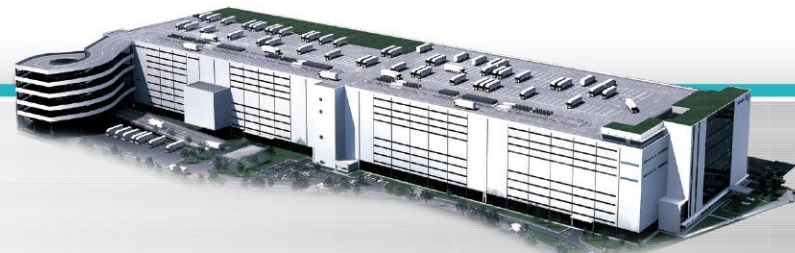
CO<sub>2</sub>増加、環境負荷

# Xフロンティアが提供する 3つの価値





# 進化したTC “SUPER HUB”



スピード  
UP

***SUPER HUB***

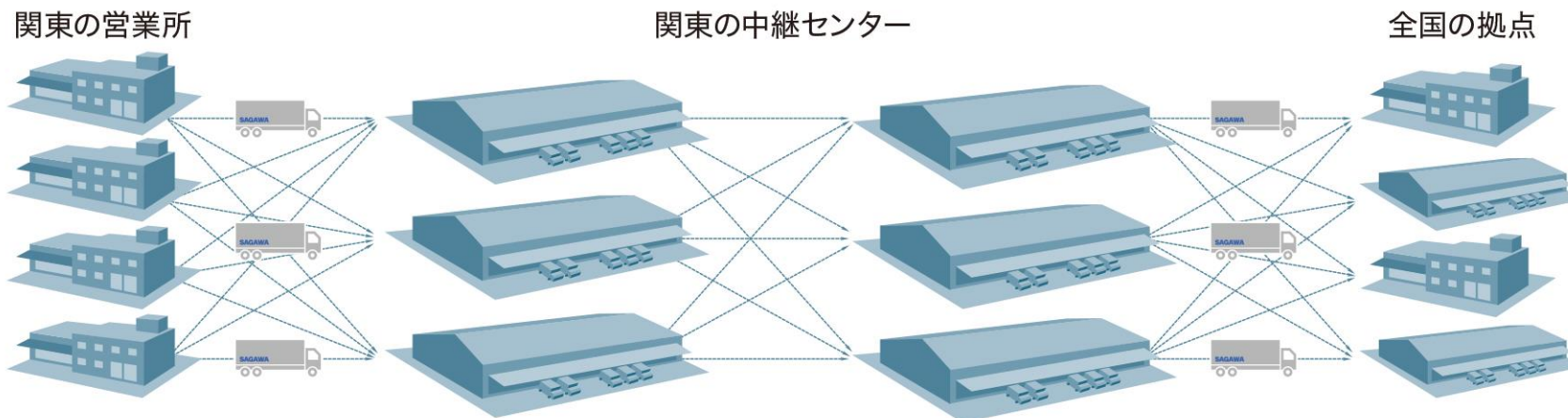
これまでにない規模  
高い処理能力による

波動対応力  
UP

品質UP

# “SUPER HUB”によるスピードUP

BEFORE



AFTER

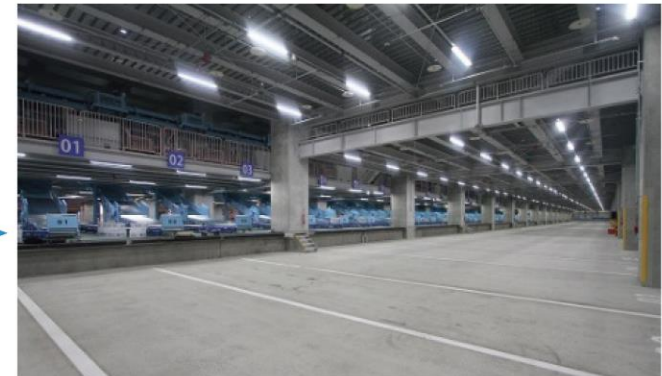
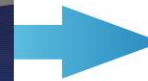


# “SUPER HUB”による品質と波動対応力UP

## 車両の処理能力UP

- 着車バース  
到着60台／発送236台
- 屋上の駐車スペース  
約250台

従来の駐車スペース

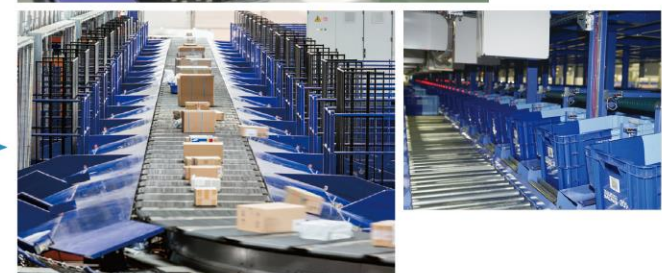
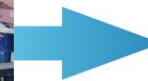


## マテハン処理能力UP

1時間あたり**10万**個の処理能力

- クロスベルトソータ
- ウェブソータ
- 小物仕分け機

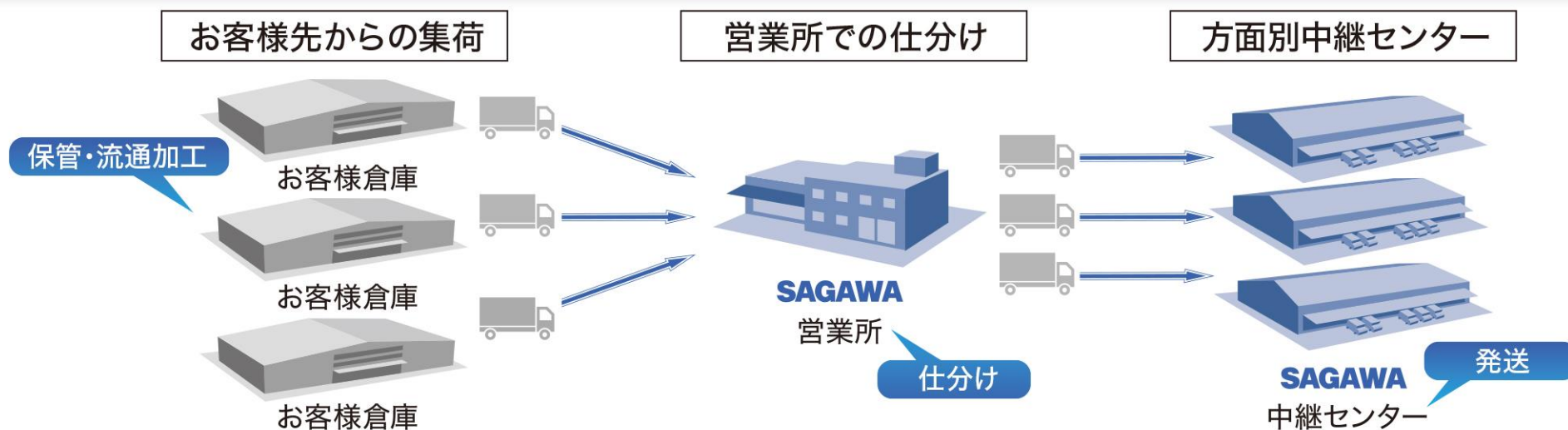
従来のマテハン処理







# ワンストップでのソリューション提供



## 物流加工業務と複数の輸送工程を1か所に集約



# 中継センター機能の拡充による ソリューションの進化



ロボットの導入促進による  
ロジスティクスの自動化・省人化



**X FRONTIER**



マテハン導入促進による処理能力UP



リードタイム短縮

コスト最適化

環境負荷低減

# 国際、大型・特殊輸送設備の充実

## VLF(多種多様な物流機能)を可能にする設備・機能

Sg moving

設置輸送



大型・特殊輸送



Sg GLOBAL

輸出入通関



保税倉庫



## 事例紹介

# アルミホイール輸送

スマート・インポート<sup>®</sup>

×

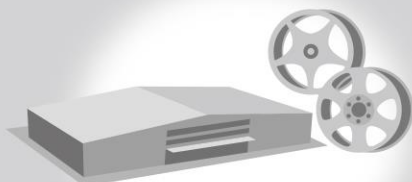
宅配便

×

TMS

BEFORE

海外(中国)



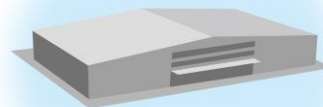
お客様倉庫  
検品

港

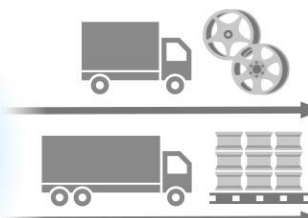


港

日本



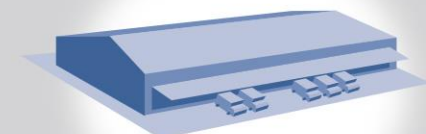
お客様物流倉庫



全国のお客様店舗

AFTER

SgH GLOBAL



SGH倉庫  
検品/荷札貼付  
店舗別事前仕分け

港



港



SAGAWA



Sg moving

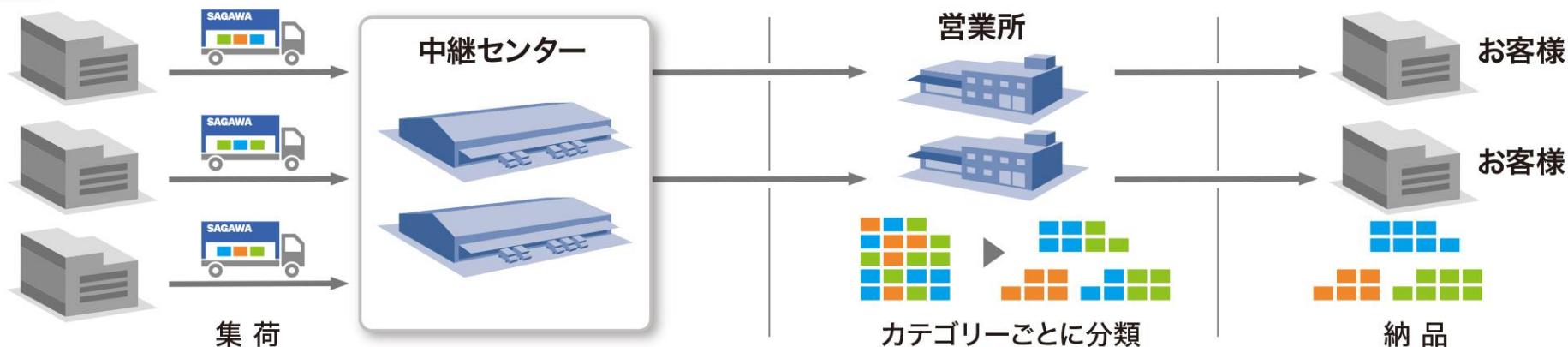


全国のお客様店舗

# 事例紹介

## スマート納品

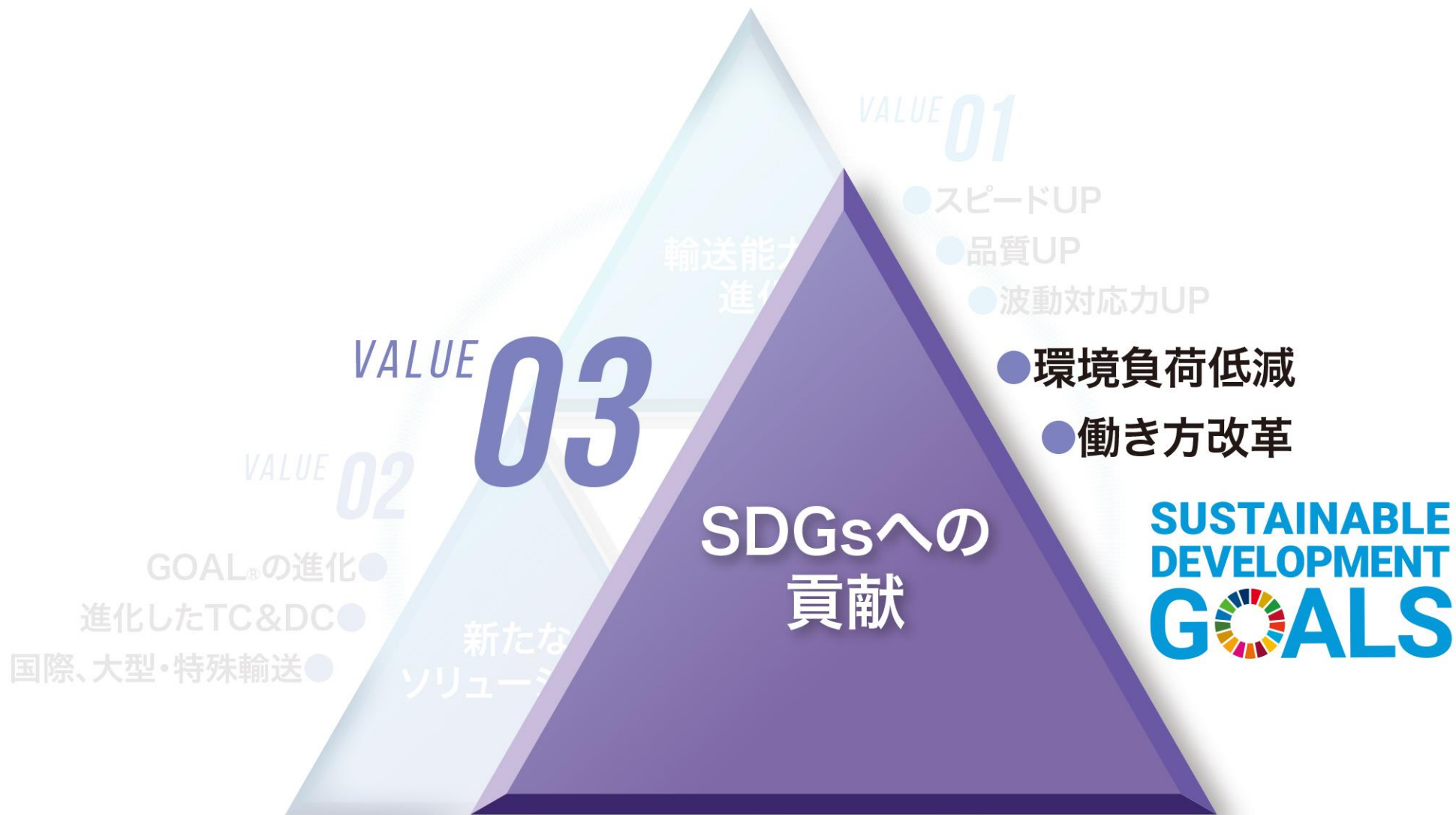
BEFORE



### “SUPER HUB”からのダイレクト 納品営業所の作業負荷軽減

AFTER





# XフロンティアによるSDGsへの貢献

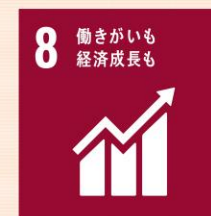
## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 環境負荷低減



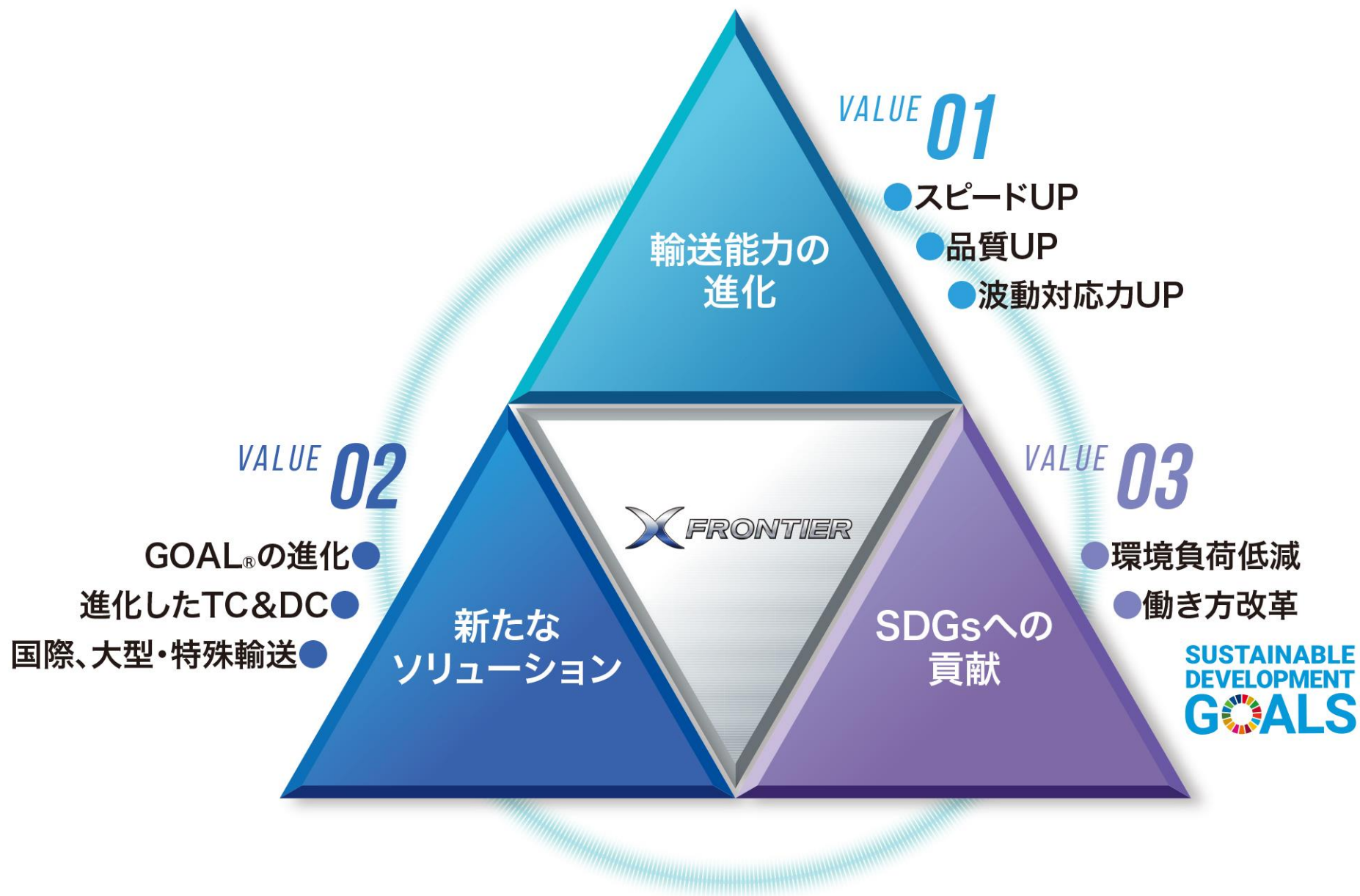
発生するCO<sub>2</sub>を削減  
.....  
幹線輸送トラック台数削減  
.....

### 職場環境改善



ドライバーの待機時間削減  
.....  
自動化・効率化での作業負荷低減  
.....

# Xフロンティアが提供する 3つの価値

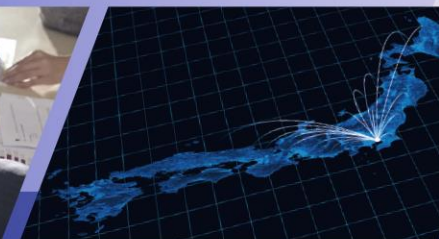






# X FRONTIER

それは進化するSAGAWAの新たなフラッグシップ



注記 ※「セールスドライバー®」、「スマート・インポート®」、「スマート納品®」、「GOAL®」は、SGホールディングス株式会社の登録商標です。